

国家試験のバイブル

国試の



PT・OT シリーズ 2018 年

臨床医学編
第19版

理学療法科学学会編

はじめに

理学療法士および作業療法士の国家試験は、共通基礎問題として、100問が出題される。内容は、基礎医学系の解剖学、生理学、運動学、臨床医学系の病理学、心理学、精神医学、リハビリテーション概論、内科、神経内科、整形外科、人間発達学などである。

『国試の達人 PT・OTシリーズ2018年』の基礎医学系として、「運動解剖生理学編」、臨床医学系として、「臨床医学編」がある。

問題編は第38回～第44回の49番から100番及び第45回～第52回の午前および午後の試験75番から100番で合計52問題を分野別に整理した。図表も多く採用し、よりわかりやすく編集した。また、本文と問題編を分離させているので、切り離して使用することができる。

国家試験に何らかのお役に立てていただければ幸いである。

臨床医学の試験分野の問題数は各章によって異なるが、おおよそ以下の数である。

病理学	7問
リハビリ概論	4問
心理学	7問
精神医学	10問
内科	6問
神経内科	8問
整形外科	6問
人間発達学（小児）	4問

多くのご協力を頂いた皆さまに感謝致します。

平成29年6月吉日
理学療法科学学会

国家試験出題基準（ガイドライン）内容

※ I. は小項目省略（運動解剖生理学編参照）
（2014年9月26日改正）

I. 人体の構造と機能及び心身の発達

1. 解剖学

- A. 総論
- B. 骨格系
- C. 筋系
- D. 神経系
- E. 脈管系
- F. 内臓諸器官
- G. 感覚器
- H. 体表解剖
- I. 断層解剖
- J. 組織

2. 生理学

- A. 総論
- B. 筋
- C. 神経
- D. 感覚
- E. 発声、構音、言語
- F. 運動
- G. 自律神経
- H. 呼吸
- I. 循環（心臓の機能を含む）
- J. 血液、免疫
- K. 咀嚼・嚥下、消化、吸収
- L. 排尿
- M. 排便
- N. 内分泌、栄養、代謝（生化学の基礎を含む）
- O. 体温調節
- P. 生殖
- Q. 老化

3. 運動学

- A. 総論
- B. 四肢と体幹の運動
- C. 動作解析
- D. 姿勢
- E. 歩行
- F. 運動制御と運動学習

4. 人間発達学

- A. 総論
- B. 各期における発達

II. 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

1. 医学概論

- A. 医学の基本
 - a. 医学の歴史
 - b. 生命倫理
 - c. 医の倫理（患者の権利、医療者の義務）
- B. 健康と疾病の概念
 - a. 健康の定義
 - b. 疾病の定義と分類

2. 臨床医学総論

- A. 病理学概論
 - a. 病因論（内因・外因を含む）
 - b. 病理学的変化（血行障害、進行性・退行性病変、炎症・感染・免疫・アレルギー、腫瘍・新生物、奇形・遺伝を含む）
 - c. 生体反応（ホメオスターシス、ストレス）
- B. 疾病の診断と治療
 - a. 問診、身体所見、記録
 - b. 生化学検査
 - c. 生理検査
 - d. 画像検査
 - e. 薬物療法
 - f. 外科的治療

3. リハビリテーション医学

- A. 総論
 - a. リハビリテーション医学の定義と歴史
 - b. リハビリテーション医学の特徴
- B. 健康と生活機能の評価
 - a. 医学的情報（病理・生理・画像診断を含む）の評価
 - b. 心身機能・身体構造の評価
 - c. 活動の評価
 - d. 参加の評価
 - e. 背景因子（環境因子および個人因子）の評価
- C. 機能障害の評価とリハビリテーション
 - a. 運動障害（運動麻痺、筋力低下、持久力低下、筋萎縮、関節拘縮、運動失調、痙縮、固縮を含む）
 - b. 動作の障害
 - c. 呼吸障害

- d. 循環障害
- e. 代謝・内分泌障害
- f. 発達障害
- g. 構音障害
- h. 視覚障害
- i. 聴覚障害
- j. 高次脳機能障害
- k. 疼痛
- l. 摂食・嚥下障害
- m. 排尿障害
- n. 排便障害
- o. 精神・心理障害
- D. 活動制限の評価とリハビリテーション
 - a. 日常生活活動〈ADL〉の制限
 - b. 生活関連活動〈IADL〉の制限
- E. 参加制約の評価とリハビリテーション
- F. リハビリテーション計画
 - a. リスク管理
 - b. 機能的帰結の予測
 - c. リハビリテーションプログラムの立案
- G. リハビリテーション治療
 - a. 理学療法
 - b. 作業療法
 - c. 言語聴覚療法
 - d. 義肢・装具療法
 - e. 運動学習
 - f. 基本動作練習
 - g. 応用動作練習
 - h. バイオフィードバック療法
 - i. 神経ブロック
 - j. 心理的アプローチ
 - k. リハビリテーション機器（杖、車椅子、座位保持装置、環境制御装置を含む）
 - l. 摂食機能療法
- H. 廃用症候群
 - a. 疫学
 - b. 病理、病態、症候
 - c. 評価、検査（画像、生理検査を含む）
 - d. リハビリテーション
 - e. その他の治療

4. 臨床心理学

- A. 基礎理論
 - a. 歴史
 - b. 防衛機制と転移
 - c. 学習、記憶、行動
- B. 発達心理および臨床心理
 - a. 児童・青年期心理

- b. 成人・高齢者心理
- c. 患者・障害者心理
- C. 臨床心理検査法
- D. 心理療法およびカウンセリング

5. 精神障害と臨床医学

- A. 疫学、予後
- B. 病因、症候
- C. 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断
- D. リハビリテーション
- E. その他の治療（精神療法を含む）
 - (A.～E.に共通)
 - a. 器質性精神障害（症状性を含む）
 - b. 精神作用物質使用による精神および行動の障害
 - c. 統合失調症、統合失調症様障害および妄想性障害
 - d. 気分障害〈感情障害〉（躁うつ病・うつ病を含む）
 - e. 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害
 - f. 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群（摂食障害、非器質性睡眠障害を含む）
 - g. 成人のパーソナリティ〈人格〉及び行動の障害
 - h. 精神遅滞（知的障害）
 - i. 心理的発達の障害（広汎性発達障害、特異的発達障害を含む）
 - j. 小児期および青年期に通常発症する行動および情動の障害（注意欠如・多動性障害等）
 - k. てんかん

6. 骨関節障害と臨床医学

- A. 疫学、予後
- B. 病理、症候
- C. 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断
- D. リハビリテーション
- E. その他の治療
 - (A.～E.に共通)
 - a. 変形性関節症、人工関節置換術後
 - b. 骨折、脱臼、靭帯損傷
 - c. 関節リウマチとその近縁疾患
 - d. スポーツ外傷
 - e. 脊椎疾患（椎間板ヘルニア、脊椎症を含む）
 - f. 腰痛症
 - g. 切斷（先天奇形を含む）
 - h. 肩関節疾患（肩関節周囲炎、腱板損傷を含む）

国家試験出題基準（ガイドライン）内容

- i. 骨粗鬆症
- j. 骨壊死性疾患（大腿骨頭壊死を含む）
- k. 先天異常、系統疾患（骨端症を含む）
- l. 骨軟部腫瘍
- m. 熱傷

7. 慢性疼痛と臨床医学

- A. 疫学、予後
- B. 病理、症候
- C. 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断
- D. リハビリテーション
- E. その他の治療
- (A.～E. に共通)
 - a. 慢性腰痛
 - b. CRPS (complex regional pain syndrome)
 - c. 肩手症候群
 - d. 視床痛
 - e. 幻肢痛
 - f. その他（帯状疱疹、三叉神経痛等）

8. 中枢神経の障害と臨床医学

- A. 疫学、予後
- B. 病理、症候
- C. 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断
- D. リハビリテーション
- E. その他の治療
- (A.～E. に共通)
 - a. 血管障害（頭蓋内出血、脳梗塞を含む）
 - b. 感染・炎症性疾患（脳炎、髄膜炎、脊髄炎、ヒト免疫不全ウイルス〈HIV〉による神経障害を含む）
 - c. 変性ならびに脱髄疾患（Parkinson病とその関連疾患、脊髄小脳変性症〈SCD〉、運動ニューロン疾患、認知症、多発性硬化症〈MS〉）
 - d. 外傷（外傷性脳損傷〈TBI〉、脊髄損傷）
 - e. 腫瘍
 - f. てんかん
 - g. 視覚・聴覚障害

9. 末梢神経・筋の障害と臨床医学

- A. 疫学、予後
- B. 病理、症候
- C. 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断
- D. リハビリテーション
- E. その他の治療
- (A.～E. に共通)
 - a. 末梢神経・筋疾患（多発性ニューロパチー、筋ジストロフィー等）
 - b. 外傷（絞扼性神経障害を含む）
 - c. 腫瘍

10. 小児の障害と臨床医学

- A. 保健、疫学
- B. 病理、症候
- C. 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断
- D. リハビリテーション
- E. その他の治療
- (A.～E. に共通)
 - a. 脳性麻痺
 - b. 水頭症（Arnold-Chiari奇形等）
 - c. 二分脊椎
 - d. 悪性腫瘍
 - e. 遺伝子病、染色体異常、系統疾患（先天奇形、Down症候群を含む）

11. 内部障害と臨床医学

- A. 疫学、予後
- B. 病理、症候
- C. 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断
- D. リハビリテーション
- E. その他の治療
- (A.～E. に共通)
 - a. 呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患〈COPD〉、間質性肺炎、誤嚥性肺炎等）
 - b. 循環器疾患（心臓疾患、末梢動脈疾患、静脈・リンパ管疾患）
 - c. 消化管・肝胆膵疾患
 - d. 腎・泌尿器疾患（慢性腎臓病等）
 - e. 生殖器疾患
 - f. 血液疾患、自己免疫疾患
 - g. 内分泌・代謝疾患（糖尿病、栄養障害、サルコペニアを含む）
- (注：それぞれの疾患には感染症を含む)

12. がん関連障害と臨床医学

- A. 疫学、予後
- B. 病理、症候
- C. 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断
- D. リハビリテーション（リンパ浮腫治療を含む）
- E. その他の治療（緩和ケアを含む）
- (A.～E. に共通)
 - a. 脳腫瘍
 - b. 脊髄腫瘍
 - c. 呼吸器・胸部内腫瘍
 - d. 骨腫瘍
 - e. 女性器の腫瘍
 - f. その他（臓器移植後等）

13. 老年期障害と臨床医学

- A. 疫学、予後
- B. 病理、症候

- C. 評価、検査（画像・生理検査を含む）、診断
- D. リハビリテーション
- E. その他の治療
- (A. ～E. に共通)
 - a. 老年症候群および虚弱
 - b. 認知症
 - c. うつ状態
 - d. 末梢循環障害
 - e. 誤嚥性肺炎
 - f. 骨粗鬆症、骨折
 - g. せん妄
 - h. 摂食・嚥下障害
 - i. ターミナルケア

- c. 心理教育（患者教育、家族教室）
- d. 社会参加を支える法制度（障害者の権利に関する条約〈Convention of the Rights of Persons with Disabilities、障害者権利条約〉、障害者基本法、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律〈障害者差別解消法〉）
- D. リハビリテーションの進め方
 - a. リハビリテーション関連職種とその役割
 - b. チームアプローチ
 - c. 評価会議とゴール設定
 - d. リハビリテーションプログラム、クリニカルパス
- E. リハビリテーションの諸相

III. 保健医療福祉とリハビリテーションの理念

1. 保健医療福祉

- A. 医療
 - a. インフォームドコンセント
 - b. 安全管理（インシデント、感染対策 等）
 - c. 個人情報保護
 - d. チーム医療、連携医療
 - e. 医療面接
 - f. EBM〈根拠に基づいた医療〉
 - g. 医療の供給体制（一次・二次・三次医療、救急・災害・へき地医療、地域医療）
- B. 保健
- C. 医療・福祉制度
- D. 関連法規

2. リハビリテーション概論

- A. 理念
 - a. リハビリテーションの定義・歴史
 - b. ノーマライゼーション
 - c. 自立生活〈independent living、IL〉
 - d. QOL〈quality of life〉
 - e. 総合リハビリテーション
- B. 疾病・生活機能の概念と分類
 - a. 国際疾病分類〈International Statistical Classification of Diseases and Related Health Problems、ICD〉
 - b. 国際生活機能分類〈International Classification of Functioning, Disability and Health、ICF〉
- C. 患者・障害者の心理・社会的側面
 - a. 患者・障害者心理
 - b. 障害受容

目次

※前ページのガイドラインとの対応は「II-1A」のように表記してあります。

1章 病理学	問題編 1	4章 精神医学	問題編 24
1. 総論.....1	II-2A	1. 総論（思考障害含む）.....53	II-5
2. 病因.....1	II-2A	2. 統合失調症.....57	II-5
3. 奇形.....7	II-2A, 6	3. 気分障害（感情障害）.....59	II-5
4. 循環障害.....8	II-3C	4. てんかん.....61	II-5
5. 変性疾患.....10	II-2A, 7	5. 神経症性障害.....64	II-5
6. 進行性疾患.....11	II-2A, 7	6. 認知症.....67	II-13
7. 炎症.....12	II-2A	7. 知的障害.....70	II-5
8. 腫瘍.....14	II-2A, 6-10, 12	8. 行動症候群.....73	II-5
9. 標準予防策.....16	II-2B	9. 中毒.....75	II-5
10. 感染症.....17	II-2A		
11. 臨床検査値とリスク.....18	II-2B		
2章 リハビリテーション概論	問題編 11	5章 中枢神経・筋疾患	問題編 37
1. 総論.....19	II-3A	1. 総論.....77	II-8
2. 障害.....24	II-3B	2. 脳血管障害.....87	II-8
3. ADL・QOL.....28	II-3	3. 脳性麻痺.....91	II-10
4. 法律.....30	III-1D	4. 変性疾患.....93	II-8
5. その他.....37	III-1	5. 脱髄疾患.....101	II-8
		6. その他の脳脊髄疾患.....103	II-8, 9
		7. 末梢神経疾患.....105	II-9
		8. 神経筋接合部.....107	II-9
		9. 筋疾患.....109	II-9
		10. その他.....114	II-9
3章 臨床心理学	問題編 15		
1. 防衛機制.....39	II-4A		
2. 心理検査.....41	II-4C		
3. 特殊心理療法.....43	II-4D		
4. 性格.....46	II-4B		
5. 障害の受容.....47	II-4A		
6. 記憶.....47	II-4A		
7. 転移.....48	II-4A		
8. 学習.....49	II-4A		
9. 心理発達.....50	II-4B		
10. ライフサイクル.....50	II-4B		

6章 一般内科

問題編
47

1. 呼吸器疾患.....	115	II-11
2. 循環器疾患.....	133	II-11
3. 代謝疾患.....	149	II-11
4. 血液疾患.....	156	II-11
5. 消化管疾患.....	163	II-11
6. 泌尿器疾患.....	174	II-11
7. 膠原病とその周辺.....	184	II-11
8. 老人.....	195	II-13
9. その他.....	200	

7章 整形外科

問題編
60

1. 末梢神経損傷.....	203	II-6
2. 骨折・脱臼.....	207	II-6
3. 脊髄損傷.....	218	II-6
4. リウマチと近縁疾患.....	223	II-6
5. 関節症（炎）.....	229	II-6
6. 脊柱.....	233	II-6
7. 上肢.....	238	II-6
8. 下肢.....	241	II-6
9. その他.....	246	II-6

8章 人間発達

問題編
72

1. 発達.....	249	I-4
------------	-----	-----

索引.....261

解答編.....75